

(4) 概ね5年間で実施する取組について  
(令和8年～令和12年)

具体的な取組の柱 事項	目標時期					主な内容	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	徳島地方気象台	国土地理院	四国地整
	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	気象台		国土地理院	四国地整	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容
大規模氾濫減災協議会等の設置	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	協議会に利水ダム管理者やメディア関係者など、多様な関係機関の参画(R元~)							
1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組							1.	1.	1.	1.	1.	1.	1.
(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項							(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
1-(1)-① 想定最大規模降雨等による洪水を対象とした浸水想定区域の指定及び浸水シミュレーションの公表				実施中	実施中	① 浸水想定区域の指定(H28~)	①	①	①	①	①	①	①
				実施中	実施中	浸水シミュレーションの公表(H28~)							
1-(1)-② 想定最大規模降雨による洪水を対象とした家屋倒壊等氾濫想定区域の公表				実施中	実施中	② 家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(H28~)	②	②	②	②	②	②	②
1-(1)-③ 想定最大規模降雨等による洪水を対象とした洪水ハザードマップの作成	実施中	実施中	実施済			③ 洪水ハザードマップの作成・周知(H28~)	③	③	③	③	③	③	③
			実施中	実施中		洪水ハザードマップ作成支援(H28~)							
1-(1)-④ まるごとまちごとハザードマップの整備と周知	実施中	実施中	実施済	実施中	実施中	④ まるごとまちごとハザードマップの整備と住民への周知を実施(H28~)	④	④	④	④	④	④	④
1-(1)-⑤ 住民等が避難行動を行うためのセミナー等の開催及び重要水防箇所等についての共同点検	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	⑤ 住民等が避難行動を行うためのセミナー等の開催(H28~)	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
					実施中	逃げ遅れゼロセミナーの開催(R3~)							

具体的な取組の柱 事項	目標時期					主な内容	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	徳島地方気象台	国土地理院	四国地整
	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	気象台 国土地理院 四国地整		実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容
1-(1)-⑤住民等が避難行動を行うためのセミナー等の開催及び重要水防箇所等についての共同点検	実施中		実施中	実施中		重要水防箇所等共同点検の実施(H28～)	・毎年出水期までに関係者で重要水防箇所等の点検を継続		・毎年出水期までに河川管理者(県)、町、消防署、水防団等関係者で、重要水防箇所等の点検を継続	・毎年出水期までに関係者で重要水防箇所等の点検を継続			・毎年出水期までに関係者で重要水防箇所等の点検を継続
1-(1)-⑥効果的な水防災意識社会再構築に役立つ広報や資料を作成		実施中	実施中	実施中	実施中	⑥ パンフレット・イベント・web等を活用した水災害広報の充実(H28～)	⑥ ・阿南市の広報誌や市ホームページ等のweb媒体、市公式LINEやfacebook等のSNSを活用した水害に関する情報の充実化	⑥ ・チラシ・web等による広報・周知の充実化 ・市ホームページに「防災リンクページ」を作成し、各種防災情報を集約して掲載 ・総合防災訓練の実施(防災関係機関による訓練や体験ブースの設置等)	⑥ ・那賀町の広報誌やwebにより水害情報の周知の充実化(継続実施)	⑥ ・出水期前に、市町に出水対策(水防に関する体制の充実・強化等)の周知を充実化 ・商業施設でのパネル展の開催	⑥ ・お天気関連のイベントで洪水害についての広報の充実化させる(毎年実施) ・インフラ、ライフライン関連機関との対話を通じて洪水害について広報(毎年実施)	⑥	⑥ ・避難判断水位程度規模以上の出水があった場合、出水パンフレット発行の充実化(継続)
	実施中	実施中	実施中	実施中	実施済	危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理(R元～)	・高齢者等避難は警戒レベル3、避難指示は警戒レベル4、緊急安全確保については警戒レベル5を文頭につけて危険レベルを明確化(R元.5実施済) ・洪水予測・河川水位の解説(R元.5実施済) ・広域避難体制の検討	・高齢者等避難は警戒レベル3、避難指示は警戒レベル4、緊急安全確保については警戒レベル5を文頭につけて危険レベルを明確化(R元.5実施済) ・洪水予測・河川水位の解説(R元.5実施済) ・広域避難体制の検討	・高齢者等避難は警戒レベル3、避難指示は警戒レベル4、緊急安全確保については警戒レベル5を文頭につけて危険レベルを告知(R元.5実施済) ・浸水害の避難指示は別途告知(R元.5実施済) ・洪水予測・河川水位の解説(R元.5実施済) ・広域避難体制の検討	・高齢者等避難は警戒レベル3、避難指示は警戒レベル4、緊急安全確保については警戒レベル5を文頭につけて危険レベルを明確化(R元.5実施済) ・洪水予測・河川水位の解説(R元.5実施済) ・広域避難体制の検討	・洪水注意報・大雨注意報発表時には警戒レベル2、早期注意情報発表時には警戒レベル1を文頭につけて危険レベルを明確化(R元.5済) ・キキクル(危険度分布)の紫色を整理して警戒レベル4相当と一致させるとともに警戒レベル5相当を示す黒色を追加(R4済) ・新たな防災気象情報の体系整理による警戒レベル整合を行なう(R8.5予定)		・氾濫警戒水位は警戒レベル3、氾濫危険水位は警戒レベル4、氾濫発生情報については警戒レベル5を文頭につけて危険レベルを明確化(R元.5済) ・警戒レベル推奨配色への対応(R3.11済(長生橋量水標)、R4.3済(那賀川橋量水標))
				実施予定		1日先の危険度分布の提供(R3～)							・台風による大雨など可能な現象について、より長時間のリードタイムを確保した警戒の呼びかけを行うため、1日先までの雨量予測を用いた「危険度分布」の提供開始を目指す ・防災気象情報の体系整理による時系列情報(明日までの警報等の見通し)について改善を行なう(R8予定)
				実施予定		線状降水帯予測情報の提供(R6～)							・線状降水帯の発生をお知らせする情報を提供(R3.6済) ・広域で半日前からの線状降水帯の予測を開始(R4.6済) ・30分前を目標とした直前の線状降水帯(雨域を表示)の予測を開始(R5.6済) ・県単位で半日前からの線状降水帯の予測を開始する(R6.5済) ・2～3時間前を目標とした予測情報を線状降水帯(直前予測)提供予定(R8予定)
				実施予定		洪水・大雨浸水に関する防災気象情報の改善(R8～)							・洪水・大雨浸水、土砂災害、高潮、気象情報(解説情報)に関する防災気象情報の改善を行う(R8予定)
1-(1)-⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	⑦ 出前講座等を利用し水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施(H28～)	・学校や自主防災会等を対象に洪水被害の歴史や身を守るための手段、市の対策等について出前授業を継続	・学校や自主防災会、企業等に向けた防災出前講座を実施中 ・防災出前講座等の利用促進について検討を実施	・自主防災組織等を対象に出前講座等を検討(継続実施)	・出前講座を継続 ・「水防の日」の学習会を実施 ・小中学生を対象に、VR動画等を活用した防災出前授業を実施	・出前講座などで洪水について広報を継続(毎年実施) ・eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」の提供(毎年実施)		・浸水想定区域を踏まえた洪水対応訓練の実施(継続) ・洪水被害の歴史、身を守るための手段、国の対策等について出前講座を実施(継続) ・AR啓発用浸水想定図アプリ・AR浸水体験アプリを活用した出前講座の実施(継続)
	実施済	実施中	実施済	実施済	実施済	地域防災力の向上のための人材育成(R元～)	・住民避難の取組支援の実績を有する専門家リストの共有(R元.7共有済) ・本市に住所を有する人または本市に通勤若しくは通学している人への防災士を取得に係る費用の一部の補助を実施(R2年度～) ・「小松島市防災士の会」を設立し、会員向けの定期的な研修を実施(R6年度～)	・住民避難の取組支援の実績を有する専門家リストの共有(R元.7共有済)	・住民避難の取組支援の実績を有する専門家リストの共有(R元.7共有済)	・住民避難の取組支援の実績を有する専門家リストの共有(R元.7共有済) ・那賀町の企業を対象とした防災出前講座を実施	・住民避難の取組支援の実績を有する専門家リストの共有(R元.7共有済)	・住民避難の取組支援の実績を有する専門家リストの共有(R元.7共有済)	・地域に精通し、水害・土砂災害リスク等に関する豊富な知見を有する専門家のリストを作成し協議会で共有(R元.7共有済)
	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	共助の仕組みの強化(R元～)	・地域包括支援センター・ケアマネジャーと連携した水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組の実施およびその状況を共有の継続(R2.4共有済)	・地域包括支援センター・ケアマネジャーと連携した水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組の実施およびその状況を共有を継続(R2.4共有済)	・地域包括支援センター・ケアマネジャーと連携した水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組の実施およびその状況を共有(R2.4共有済) ・包括ケアセンターの職員をはじめとした高齢者施設の職員を対象に防災講座を実施。その状況を県ホームページで公開し、広く周知	・取組の実施およびその状況を共有(リスクコミュニケーション等として例年実施中)		・取組の実施およびその状況を共有(R2.4共有済) ・市町と連携しながらケアマネジャー・地域包括支援センター等への出前講座を実施(R元.11実施、R2.4情報共有)(今後も継続して実施予定)	

具体的な取組の柱 事項	目標時期					主な内容	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	徳島地方气象台	国土地理院	四国地整
	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	国土地理院		実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容
1-(1)-⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進(R元～)	・県及び国と連携し、地域住民に対し、避難訓練への活用や住民避難を容易にする個別タイムライン作成を促進	・県及び国と連携し、地域住民に対し、避難訓練への活用や住民避難を容易にする個別タイムライン作成を促進	・県及び国と連携し、地域住民に対し、避難訓練への活用や住民避難を容易にする個別タイムライン作成を促進(継続実施)	・市町に対し、地域住民への避難訓練や住民避難を容易にするファミリータイムラインの作成に対し支援を行う ・ファミリータイムライン作成の手引きを作成し、台紙・シールのデータとともに県ホームページで公開することで、地域住民のファミリータイムラインの作成を支援			・市町に対し、地域住民への避難訓練や住民避難を容易にするマイタイムラインの作成に対し支援を行う (今後も継続して実施予定)
1-(1)-⑧住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイムの情報提供やブッシュ型情報の発信	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	ライブ映像・メール配信サービス・エアメール・ケーブルテレビ配信等を活用した情報発信及び拡充 報道機関、防災行政無線、ICT(登録制メール・web・SNS等)災害時情報共有システム、ケーブルテレビ自主放送チャンネル等の活用(H28～)(ICTの活用はH30～)	・防災無線、登録制メール、web、災害時情報共有システム等の活用 ・適時の避難勧告等の発令には川の防災情報での河川水位の把握、洪水時は主に徳島県県土防災情報管理システムをモニターし、各河川の水位現況及び水位上昇速度を確認 ・市公式LINEへの配信開始(R4.12.21～)	・緊急速報メール・防災行政無線(サイレン放送を伴う)、市公式LINEの活用 ・河川水位の把握のため、洪水時は徳島県県土防災情報管理システム、川の防災情報をモニターし、各河川の水位現況及び水位上昇速度を確認	・ケーブルテレビや防災行政無線による告知端末や屋外放送設備で避難勧告等の放送、那賀町災害情報メール配信(職員、消防団)、緊急速報メール、広報車による周知、災害時情報共有システムへの情報提供、ケーブルテレビ文字情報配信、那賀川河川事務所長から那賀町長へのホットライン、リエゾンやダム管理者等からの情報を、ケーブルテレビのチャンネルで河川監視カメラの映像に載せて放映し、住民に情報提供、川の防災情報や徳島県県土防災情報管理システムにより、長安口ダムの流入・放流量や浸水地域の水位データを確認 ・スマートフォン等を活用したリアルタイムの防災情報を文字で直接個人へ伝達できる「防災アプリ」を運用開始	・那賀町木頭出張所・和食にライブカメラ設置し、大雨時にケーブルテレビによる配信を継続 ・ブッシュ型情報配信(すだちくんメール・徳島県公式LINE)の継続及び受信者の拡充 ・河川水位の情報を徳島県水防情報や報道機関を通じての発信を継続 ・ダム放流開始の通知「自動発信機能」を構築 ・水位情報等のアラートによる配信を実施 ・那賀川(那賀町和食)でYouTubeライブ配信開始(R3実施済) ・徳島県公式SNS等でブッシュ型による水位情報の提供開始(R3実施済)	・気象情報・警報・注意報、洪水予報等を気象庁HP・報道機関を通じて住民へ情報提供 ・自治体や関係行政機関への情報提供(防災メール、防災情報提供システムメール) ・気象庁HPIによる防災情報の拡充 ・顕著現象発生時には、常時接続を用いた自治体への解説		・那賀川河川事務所所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTV画像の常時配信の箇所を拡充、防災情報メール配信サービス受信者の拡充、川の防災情報による情報提供の継続 ・情報をwebや報道機関を通じて発信を継続(継続) ・ケーブルテレビに対し、映像提供を検討 ・那賀川・桑野川で4箇所、CCTV画像のYouTubeライブ配信を継続 ・長安口ダム放流量警報表示板の運用開始(R3.8済) ・台風接近時や出水対応時に、事務所公式Twitterを活用して情報発信開始(R5.7済)
1-(1)-⑨長安口ダム操作に関する関係機関等への周知	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	毎年出水期までに関係機関を対象とした放流に関する周知会を実施(H28～)	・毎年、長安口ダム放流警報周知会に参加		・毎年、長安口ダム放流警報周知会に参加	・毎年、長安口ダム放流警報周知会に参加	・長安口ダム放流警報周知会に参加		・毎年出水期までに関係機関を対象とした長安口ダム放流に関する周知会を実施(継続)
	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	出前講座等の開催、那賀川河川事務所webや阿南市・小松島市・那賀町の広報誌等への定期的な防災情報の掲載(H28～)	・広報あなんにて那賀川に関する防災情報を掲載中	・必要に応じて、広報こまつまにて那賀川に関する防災情報を掲載	・広報なかにて那賀川に関する防災情報を掲載中				・出前講座等の開催、那賀川河川事務所webや阿南市・小松島市・那賀町の広報誌等への定期的な掲載を充実(継続)
	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	ダム放流情報を活用した避難体系の確立に向けた検討(R元～)	・ダム情報の意味・内容を共有	・ダム情報の意味・内容を共有	・ダム情報の意味・内容を共有	・ダム情報の意味・内容を共有	・ダム情報の意味・内容を共有	・ダム情報の意味・内容を共有	・洪水時に提供するダム情報の充実については関係機関等と調整を図りつつ取組を促進(継続)
1-(1)-⑩水害危険性の周知・促進	実施予定	実施中	実施中	実施中	実施中	水害危険性の周知・促進(H30～)	・国及び県が提供する情報を基に想定最大規模降雨対応のハザードマップの周知を進める ・内水及び本市域内を流れる二級河川等のハザードマップ作成(令和8年度～)	・web版である想定最大規模降雨対応のハザードマップの紙媒体での全戸配布を進める(R元.12済) ・小松島市高潮ハザードマップの作成(R5.3済) ・小松島市防災ハザードマップWeb版の情報の更新(R5.3済) ・周知を継続	・国及び県が提供する情報を基に想定最大規模降雨対応のハザードマップを作成(R元.5済) ・周知を継続して実施 ・Web版ハザードマップを紙ベースで作成(R5.5実施)	・中小河川の浸水想定図作成を推進するなど、水害リスクの共有を図り、リスク情報の空白地帯を解消			・水害リスクの共有を図り、リスク情報の空白地帯を解消していく ・出前講座にて浸水想定区域図・浸水ナビ・川の防災情報等、水害リスクに関する情報の解説を実施(継続)
					実施中	適切な土地利用の促進(R元～)							・不動産関係業界と連携して、不動産団体の研修会等の場において、水害リスクに関する情報の解説を実施(R元.12.13実施) (今後は必要に応じて実施予定)
1-(1)-⑪浸水実績等の周知			実施中		実施中	出水時の浸水状況等の公表を各河川管理者が実施(H30～)				・平成26年台風の浸水痕跡マップをwebで公表 ・平成16・26年台風の浸水痕跡マップの冊子を市町に提供			・浸水状況について関係機関に情報提供(継続)
					実施中	浸水被害確認システムの構築(H30～)							・システムは完成しており、これからテストを行い、今後実戦投入(H31.1済) ・今後実践において活用する予定(実施中)
1-(1)-⑫防災教育の促進	実施中	実施中	実施中	実施中	実施予定	防災に関する内容が強化された新学習指導要領に基づく授業の実施及び実施に向けた支援(H30～)	・防災教育の指導計画作成及び実施 ・教材等に使用する資料の提供を実施	・各学校での防災教育の実施状況や使用教材を共有 ・教材等に使用する資料の提供を実施	・防災教育指導計画に基づくモデル校での実施状況や使用教材を共有 ・教材等に使用する資料の提供を実施	・関連市町における全ての学校に共有等支援 ・モデル校での実証授業を踏まえ、防災教育の副読本及び防災学習指導の手引きを作成し、県下全域へ展開			・取組状況は協議会にて共有 ・教材等に使用する資料の作成手法や新しいコンテンツの紹介(R8予定)



具体的な取組の柱 事項	目標時期				主な内容	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	徳島地方気象台	国土地理院	四国地整
	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県		国土地理院	四国地整	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容
1-(2)-⑤想定最大規模降雨等による洪水を対象とした広域避難計画の作成及び支援、避難場所の設定	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
						⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
1-(2)-⑥住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
						⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
1-(2)-⑦洪水時における迅速かつ的確な情報提供等	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
						⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
						⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
						⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
1-(2)-⑧避難勧告等の発令基準の作成検討	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
						⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
						⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
						⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
(3)円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項						(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
1-(3)-①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	①	①	①	①	①	①	①
						①	①	①	①	①	①	①
1-(3)-③水位計・CCTV等の整備					実施済	③	③	③	③	③	③	③
						③	③	③	③	③	③	③
						③	③	③	③	③	③	③

具体的な取組の柱 事項	目標時期					主な内容	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	徳島地方気象台	国土地理院	四国地整
	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	気象台 国土地理院		実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容
1-(3)-③水位計・CCTV等の整備						重要水防箇所等の監視を踏まえた簡易型河川監視カメラ等の設置・更新 webによる情報提供 (H28～)				・那賀町木頭出原・和食にCCTVカメラ等を設置 (和食 R3年度実施済) (木頭出原 R4年度実施済)			・重要水防箇所等の監視を踏まえた那賀川河川事務所所管の那賀川・桑野川に簡易型河川監視カメラの設置・更新を検討 ・令和3年度那賀川に6台の簡易型河川監視カメラを設置 (R4.3済) ・令和4年度那賀川・桑野川に5台の簡易型河川監視カメラを設置 (R4.10済)
						浸水被害確認システムの構築 (H30～)							・システムは完成しており、これからテストを行い、今後実戦投入 (H31.1済) ・今後実践において活用する予定(実施中)
2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組							2.	2.	2.	2.	2.	2.	2.
(1)水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項							(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
2-(1)-①連絡体制の確認と情報共有の強化						①	①	①	①	①	①	①	①
	実施中	実施予定	実施中	実施中	実施中	水防団等との連絡体制の再確認と情報共有等の強化 (H28～)	・分団幹部研修で図上訓練を実施しており、今後も情報伝達訓練を実施	・毎年情報伝達網の確認 ・水防団による定期的な訓練が実施できていないため今後検討	・毎年出水期までに河川管理者(県)、町、消防署、水防団等関係者で、重要水防箇所等の点検を実施	・河川管理者と水防団等との重要水防区域点検時等において、連絡体制を強化 ・常時、河川ハロー実施者(阿南庁舎 非常勤職員 那賀庁舎 委託契約業者)からの状況報告を実施		・河川管理者と水防団等とのそれぞれの河川巡視等で収集した情報の共有の強化(継続) ・毎年出水期前に特別巡視訓練等を継続	
	実施中		実施中		実施中	樋門操作人との連絡体制の確認 (H28～)	・台風前に樋門操作人に情報提供し、連絡体制を確認			・年度当初等に、樋門操作人と避難が必要なとき等について確認を実施		・樋門操作人と連絡体制の強化及び避難判断基準等の確認を継続	
2-(1)-②重要水防箇所等について水防団等と共同点検						②	②	②	②	②	②	②	
	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	重要水防箇所等の共同点検及び水防団等との意見交換 (H28～)	・毎年出水期前に重要水防箇所の共同点検を継続 ・毎年研修会及び幹部会を開催し意見交換を継続		・毎年出水期までに河川管理者(徳島県)、那賀町、消防署、水防団等関係者で、重要水防箇所等の点検を継続 ・毎年数回幹部会を開催し意見交換を継続	・重要水防区域の点検を継続 ・水防団等との意見交換を継続		・毎年出水期前に重要水防箇所の共同点検を継続 ・水防団等との意見交換を毎年継続	
2-(1)-③水防団の円滑な水防活動を支援するため重要水防箇所の精査・見直し						③	③	③	③	③	③	③	
	実施済	実施済	実施中		実施中	重要水防箇所の精査・見直し (H28～)				・毎年出水期前に精査・見直しを継続		・毎年出水期前に精査・見直しを継続	
	実施済	実施済			実施済	水防団間での連携・協力 (H30～)	・H10.4.1締結の徳島県市町村消防相互応援協定を確認	・H10.4.1締結の徳島県市町村消防相互応援協定を確認	・H10.4.1締結の徳島県市町村消防相互応援協定を確認				
2-(1)-④水防に関する広報の充実						④	④	④	④	④	④	④	
	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	水防団の募集等に係る広報の進め方について検討及び実施 (H30～)	・水防団の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討及び実施	・水防団の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討及び実施	・水防団の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討及び実施	・水防団の広報や支援等の検討			
2-(1)-⑤自主防災組織等の水防活動への参画を促進し、関係機関が連携した水防訓練の実施						⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	
	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	自主防災組織・水防団等を対象に、水防工法の訓練を実施 (H28～)	・阿南市の総合防災訓練を通して水防工法の練度向上を図る ・水防団の技術力向上のため、水防訓練を近年の水害を踏まえ実施内容を検討・調整した上で実施 ・多様な関係機関、住民等の参加により、より実践的な水防訓練となるよう、訓練内容について検討	・水防団・自主防災組織・消防署・危機管理課職員等の参加を検討 ・水防団の技術力向上のため、水防訓練を近年の水害を踏まえ実施内容を検討・調整 ・多様な関係機関、住民等の参加により、より実践的な水防訓練となるよう、訓練内容について検討	・浸水地域の自主防災組織が夜間避難訓練を毎年秋に実施 ・水防団の技術力向上のため、水防訓練を近年の水害を踏まえ実施内容を検討・調整 ・多様な関係機関、住民等の参加により、より実践的な水防訓練となるよう、訓練内容について検討 ・水防団、自主防災組織、役場職員、地域住民等が参加した総合防災訓練や避難所開設訓練を実施(R6年度～)	・那賀川河川事務所と連携し、水防工法の訓練を実施		・水防団等の団員内に、水防工法の訓練を実施し練度の向上を図る(継続)	
	実施済	実施済	実施済		実施済	水防活動の円滑化のために権限の一部を民間事業者等に委任 (H30～)	・地域防災計画にて企業・NPO法人との協定を締結済み (R3年度以前)	・地域防災計画にて企業・NPO法人との協定を締結済み (R3年度以前)	・地域防災計画にて企業・NPO法人との協定を締結済み (R3年度以前)				
2-(1)-⑦住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイムの情報提供やブッシュ型情報の発信						⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	
	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	ライブ映像・メール配信サービス・エリアメール・ケーブルテレビ配信等を活用した情報発信及び拡充 報道機関、防災行政無線、ICT(登録制メール・web・SNS等)災害時情報共有システム、ケーブルテレビ自主放送チャンネル等の活用 (H28～)	・防災無線、登録制メール、web、災害時情報共有システム等の活用 ・適時の避難勧告等の発令には川の防災情報での河川水位の把握、洪水時は主に徳島県県土防災情報管理システムをモニターし、各河川の水位現況及び水位上昇速度を確認 ・市公式LINEへの配信開始 (R4.12.21～)	・緊急速報メール・防災行政無線(サイレン放送を伴う)、市公式LINEの利活用 ・河川水位の把握のため、洪水時は徳島県県土防災情報管理システム、川の防災情報をモニターし、各河川の水位現況及び水位上昇速度を確認	・ケーブルテレビや防災行政無線による告知端末や屋外放送設備で避難勧告等の放送、那賀町災害情報メール配信(職員、消防団)、緊急速報メール、広報車による周知、災害時情報共有システムへの情報提供、ケーブルテレビ文字情報配信、那賀川河川事務所長から那賀町長へのホットライン、リエゾンやダム管理者からの情報を、ケーブルテレビのチャンネルで河川監視カメラの映像に載せて放映し、住民に情報提供 ・川の防災情報や徳島県県土防災情報管理システムにより、長安口ダムの流入・放流量や浸水地域の水位データを確認 ・スマートフォン等を活用したリアルタイムの防災情報を文字で直接個人へ伝達できる「防災アプリ」を運用開始	・那賀町木頭出原・和食にライブカメラ設置し、大雨時にケーブルテレビによる配信を継続 ・ブッシュ型情報配信(すだちくんメール・徳島県公式LINE)の継続及び受信者の拡充 ・河川水位の情報を徳島県水防情報や報道機関を通じての発信を継続 ・ダム放流開始の通知「自動発信機能」を構築 ・水位情報等のアラートによる配信を実施 ・那賀川(那賀町和食)でYouTubeライブ配信開始(R3実施済) ・徳島県公式SNS等でブッシュ型による水位情報の提供開始(R3実施済)	・気象情報・警報・注意報、洪水予報等を気象庁HP・報道機関を通じて住民へ情報提供 ・自治体や関係行政機関への情報提供(防災メール、防災情報提供システムメール) ・気象庁HPによる防災情報の拡充 ・顕著現象発生時には、常時接続を用いた自治体への解説	・那賀川河川事務所所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTV画像の増設配信の箇所を拡充、防災情報メール配信サービス受信者の拡充、川の防災情報による情報提供の継続 ・情報をwebや報道機関を通じて発信を継続 ・また、SNSを利用したの情報発信も実施(継続) ・ケーブルテレビに対し、映像提供を検討 ・那賀川・桑野川で各2箇所CCTV画像のYouTubeライブ配信開始(継続) ・長安口ダム放流情報表示板の運用開始(R3.8済) ・台風接近時や出水対応時に、事務所公式Twitterを活用して情報発信開始(R5.7済)	

具体的な取組の柱 事項	目標時期					主な内容	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	徳島地方气象台	国土地理院	四国地整
	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	国土地理院		実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容
2-(1)-⑧河川水位等に係る情報提供	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	web・報道機関・防災行政無線等を利用した情報提供(H28～)	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
2-(1)-⑨水防資機材の整備	実施中	実施予定	実施中	実施中	実施中	水防資機材を河川防災ステーション・水防倉庫等に配置(H28～)	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨
2-(1)-⑩浸水被害軽減地区の指定	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	浸水被害軽減地区の検討及び検討が必要な土地に係る情報の提供(H30～)	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
(2)大規模工場等の自衛水防の推進に関する事項							(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
2-(2)-①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	報道機関、防災行政無線、ICT(登録制メール・web・SNS等)災害時情報共有システム、ケーブルテレビ自主放送チャンネル等の活用(H28～)	①	①	①	①	①	①	①
2-(2)-②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動及び支援			実施中		実施中	出前講座等を利用し大規模工場等へ浸水リスクの説明並びに水害対策の啓発(H28～)	②	②	②	②	②	②	②
			実施中		実施中	浸水想定区域の指定(H28～)							
			実施中		実施中	浸水シミュレーションの公表(H28～)							
	実施済	実施済				水防法改正に伴う大規模工場等の基準(用途及び規模)を条例等で制定等(H28～)							
	実施中					大規模工場等の避難確保計画作成に向けた支援(H28～)							
	実施中		実施中		実施中	大規模工場等を対象とした自衛水防の支援(H28～)							

具体的な取組の柱 事項	目標時期					主な内容	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	徳島地方気象台	国土地理院	四国地整
	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	国土地理院		実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容
2-(2)-③行政機関、災害拠点病院等の水害時の対応等を検討						③	③	③	③	③	③	③	③
	実施済	実施済	実施済	実施済	実施中	行政機関、災害拠点病院等への情報伝達の充実(H30～)	・各行政機関、防災拠点病院等の担当部局の確認(R6年度確認済)	・各行政機関、防災拠点病院等の担当部局の確認(R3年度以前)	・各行政機関、防災拠点病院等の担当部局の確認(R3年度以前)	・協議会の場において各施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制・方法について検討(R3年度以前)	・インフラ、ライフライン関連機関への防災メールの提供、台風説明会への招待を開始	・協議会にて情報共有(R3.3以前共有済)	・関係市町への事前行動計画(タイムライン)を作成済み(R4.10済) ・必要がある場合、関係市町の事前行動計画(タイムライン)を改定
	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	行政機関、災害拠点病院等の水害時の浸水対策等を検討(H28～)	・想定最大規模降雨等による水害対応等を検討	・想定最大規模降雨等による水害対応等を検討	・計画規模降雨については庁舎や病院は、浸水被害を受けにくい場所にあるため、特段の対応無し ・想定最大規模降雨等による水害対応等を検討	・水害の発生が予想される場合、災害対策南部支部(美波庁舎)を設置して対応 ・想定最大規模降雨等による水害対応等を検討			・計画規模降雨による洪水の場合、事務所庁舎2階又は防災ステーションを拠点(H30.8～初動対応訓練毎年実施) ・想定最大規模降雨等による水害対応等を検討
3. 社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用等の強化の取組							3.	3.	3.	3.	3.		3.
3-①氾濫水を迅速に排除するため、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、想定最大規模降雨等により発生する洪水の氾濫を想定した排水計画の作成						①	①	①	①	①	①	①	①
				実施中	実施済	地形及び排水系統の調査並びに排水計画の作成排水ポンプ車等の最適な配置計画の検討を実施(H28～)				・国、市町と排水機場、樋門、排水路等の情報共有を踏まえ、管理しているポンプ車等の適切な配置計画を検討			・排水機場、樋門、排水路等の情報共有を踏まえ排水計画を作成、管理しているポンプ車等の適切な配置計画策定済(R4年度済)
3-②排水施設、排水資機材の操作・運用等						②	②	②	②	②	②	②	②
				実施中	実施中	排水施設等の点検及び訓練(H28～)				・排水ポンプ車や排水資機材は平常時から定期的な保守点検を実施し、災害発生時の出動体制を確保 ・関係機関と連携し毎年度排水ポンプ車による訓練を実施 ・排水施設については、定期的な保守点検、操作方法等の確認を行い、災害発生時の稼働体制を確保			・排水ポンプ車や照明車等の災害対策車両・機器は平常時から定期的な保守点検を行うとともに、機械を扱う職員等への訓練・教育も実施し、災害発生時の出動体制を確保(継続) ・排水施設についても、定期的な保守点検、操作訓練等を実施し、災害発生時の稼働体制を確保(継続)
	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	排水施設等の操作及び運用(H28～)	・排水施設については国、県からの指導を得ながら運用 ・排水ポンプについては内水発生地区において災害時、国又は県に出動を要請	・市内に排水機場、雨水ポンプ場等(県・市他管理)を設置しており、内水の上昇により排水を実施	・県浸水対策特別緊急事業により堤防が完成し、その内水対策として町が南川排水路を新設(R4.7済) ・国が所有する可動式ポンプ車を保管する車庫を役場内に設置(R4.6済)	・災害発生時には排水機場及び排水ポンプ車等の排水施設等を迅速に稼働する体制を確保			・災害発生時には排水機場及び排水ポンプ車等の排水施設等を迅速に稼働する体制を確保
3-③長安ロダムの危機管理型運用方法の可能性検討						③	③	③	③	③	③	③	③
					実施中	長安ロダム下流の被害軽減のため、洪水調節容量の有効活用について可能性を検討(H28～)							・長安ロダム改造及び堤防整備の状況に合わせ、洪水調節容量を有効に活用できるよう運用中(R6～)
3-④那賀川水系治水協定に基づく事前放流の実施						④	④	④	④	④	④	④	④
				実施中	実施中	那賀川水系治水協定に基づき利水ダムを含めた4ダムで事前放流を実施(R3～)				・関係機関と連携し、那賀川水系治水協定に基づく事前放流を確実に実施			・関係機関と連携し、那賀川水系治水協定に基づく事前放流を確実に実施(継続)